

平成31年4月13日 (土) 開通

# 東北中央自動車道 南陽高畠IC～山形上山IC

～渋滞緩和と代替路確保へ～



NEXCO東日本が整備を進めてきた東北中央自動車道(南陽高畠IC～山形上山IC)が平成31年4月13日(土)に開通した。あわせて山形PAも同時にオープンした。

【開通日】平成31年4月13日(土)

【開通区間】▽東北中央自動車道(南陽高畠IC～山形上山IC) / 延長24.4km

【開通による整備効果】▽国道13号の渋滞緩和と代替路確保

▽東北中央自動車道(南陽高畠IC～山形上山IC)が平成31年4月13日(土)に開通した。あわせて山形PAも同時にオープンした。

緩やか、災害時における代替路としての機能が期待される。▽高規格幹線道路のダブルネットワーク構築

【開通による整備効果】▽国道13号の渋滞緩和と代替路確保

### ゴールデンウィーク期間の高速道路渋滞予測

下り線は5月3日(金)、上り線は5月4日(土)～5日(日)がピークに!

高速道路各社等は、ゴールデンウィーク期間の渋滞予測を発表した。

線	渋滞予測
▽E20中央自動車道(上り)	4月27日(土) 11時頃、28日(日) 11時頃
▽E4東北自動車道(下り)	5月3日(金) 8時頃
▽E1東名高速道路(上り)	5月3日(金) 9時頃
▽E28神戸淡路鳴門自動車道(上り線)	5月5日(日) 19時頃

【開通による整備効果】▽国道13号の渋滞緩和と代替路確保

### ドラ割「北海道観光ふりーぱす」& 本州～北海道のフェリーが今年も連携!

<https://www.e-nexco.co.jp/>

NEXCO東日本と、本州と北海道を結ぶ川崎近海汽船株式会社、商船三井フェリー株式会社、新日本フェリー株式会社、青函フェリー、太平洋フェリー株式会社、津軽海峡フェリー株式会社は、フェリーを利用してマイカー等で本州から北海道へ旅行する利用者を対象に、ドラ割「北海道観光ふりーぱす」とフェリー連携の割引を併せて使えるサービスを、2019年4月26日(金)から開始する。

### 東名高速道路 全線開通50周年 記念イベントを名古屋市内で開催

<https://tomei-50th.jp/>

【開催場所】モズワンターシティ ウェストコート(名古屋市中区二方町40番)

【内容】東名の昔と今の写真や整備効果を紹介するパネルを展示。▽作ってみよう! 高速道路を巡回するパトロールカーのペーパークラフト

【開通による整備効果】▽国道13号の渋滞緩和と代替路確保

【開通による整備効果】▽国道13号の渋滞緩和と代替路確保

【開通による整備効果】▽国道13号の渋滞緩和と代替路確保

## 「平成」から「令和」へ

本年4月末をもって「平成」の時代が終わり、5月1日から新たな元号「令和」の時代となる。平成の振り返りと令和への期待がメディア等を賑わしている折り、本拙稿でも取り上げたい。

### 「平成」から「令和」へ

#### 新たな時代へと繋ぐ道路施策

平成時代は、バブル景気による高揚感から、バブル崩壊、リーマンショック等による不況や阪神淡路大震災、東日本大震災等の被災などを経て、閉塞感に覆われた時代ともいわれた。日本は少子高齢化が進み人口は平成20年頃をピークに減少し、国民の平均年齢は平成当初の36歳から46歳となり、高齢化率も12%から28%となった。

### 関西国際空港連絡橋 完全復旧

### 高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】▽阪神高速3号神戸線 湊川～京橋 5月24日(金) 4:00～6月3日(月) 6:00
- 【工事規制】▽上信越自動車道 碓氷軽井沢IC～佐久IC 4月1日(月)～5月末 昼夜連続車線規制 ※4月28日(金)～5月6日(月)及び5月11日(土)以降の土日は除く
- ▽小田原厚木道路 5月7日(火)～7月19日(金) 平塚本線料金所～大磯IC 昼夜連続・対面通行規制
- ▽名古屋第二環状自動車道 名古屋IC～東名阪自動車道 亀山IC 昼夜連続・1車線または2車線規制、夜間通行止め、IC・JCT閉鎖 5月11日(土) 0:00～5月25日(土) 6:00
- ▽新名神高速道路 亀山JCT～草津JCT 昼夜連続・1車線規制、夜間通行止め、IC・JCT閉鎖 5月11日(土) 0:00～5月25日(土) 6:00

平成では大地震のほか、気候変動の影響と思われる経験の無い程の高温や豪雨が頻発し、各地で風水害等の原因ともなった。また、昭和の高成長長期に整備したインフラの老朽化も地域社会で大きな課題となっている。一方、携帯電話、スマホ、ICT等の技術革新が進み人々の生活様式が大きく変化した時代でもあった。

道路整備については、国の財政状況等に鑑み道路特定財源の見直しや道路公団民営化などが実施され、国の道路予算は平成6年をピークに半減。その一方で自家用車保有台数は若者の車離れの中でも3千万台から6千万台へと倍増。高速道路延長はこの30年で5千kmから1万5千kmへと倍増した。

経済成長は人・モノが「移動」することから始まり、多様な外部との「繋がる力」が重要とも言われる。かつてナンバーワンといわれた日本が輝きを失ったのは社会情勢の変化によるのか期待したい。

文化の薫り高い元号「令和」の時代に、技術先進国であり人口減少社会の先進国でもある我が国において今後どのような道路施策が展開されるのか期待したい。

【カード配布期間】2019年4月13日(土)～5月19日(日) ※いずれも当日消印有効